



sakushin ism



Sakushin Gakuin Elementary School

作新学院小学部

学院長 船田 元

〒320-8525 栃木県宇都宮市一の沢1丁目1-41

☎028(647)4576

FAX028(648)1823

<https://www.sakushin.ac.jp/elementaryschool/>



交通案内

◆JR宇都宮駅利用 西口バスターミナル⑥・⑦乗場から
関東バス「作新学院駒生」行乗車

◆東武宇都宮駅利用 東武宇都宮駅前バス乗場から
関東バス「作新学院駒生」行乗車

※いずれも「作新学院前」下車



SAKUSHIN GAKUIN
ELEMENTARY SCHOOL



作新学院小学部

2024

学校案内／募集要項

学風

「作新民。」その「人間力」で、世界を変える、未来をつくる。



「確かな知力」「豊かな心」「やりぬく強さ」

〈リトルジェントルマン〉 〈リトルレディ〉
小さな紳士・小さな淑女を育てる



学院長
船田 元



理事長
船田 恵

作新学院小学部は県内でただ一つの私立小学校です。小学部では私立の特色を生かし、児童一人ひとりが個性を十分に伸ばせるよう、教職員は細かい点にまで気を配りながら指導しています。特に学院の校風である人を思いやる優しさや、心の豊かさをもった人となるように、知育・徳育・体育のバランスのとれた教育を心がけ、それを実践しています。

知 育 ———— 少数人数教育によるきめ細かい指導。

教育の基本は「教え込む」ことではなく、その子どもに備わっている能力と可能性を最大限に「引き出す」ように導くことです。そして、子どもが自発的に学べる環境を整えることです。作新学院小学部では、各教科の授業において、子どもたちの学習に対する興味や関心を高める様々な取り組みを通して、学習への意欲を引き出し、学力を確実に伸ばすことに力を注いでいます。また、少人数クラス編成でのきめ細やかな指導とチーム・ティーチングにより、授業に自然と集中できる環境を作り出しています。

徳 育 ———— 感謝と思いやりの心を育む。

作新学院小学部の道徳教育は、キリスト教の愛の精神を基盤とし、成長に合わせてゆっくりと子どもを見守りながら「思いやり」の心を育み、愛情豊かに育てようとする教育です。学校での生活は、朝の祈りに始まり、帰りの祈りに終わります。また、月に二回の牧師による聖話では聖書から隣人愛について学び、他人を理解し、よい人間関係をつくることのできる子どもの育成に力を入れています。また、学校は子どもの社会性を養うところでもあります。規律や礼儀、言葉づかいなど日常のしつけ教育も徹底して行っています。

体 育 ———— 体力と意志力の育成。

通常の授業の他に私立学校の特色を活かした多彩なスポーツ系年間行事を用意。体力だけでなく持久力や忍耐力などをそなえた強くたくましい子どもを育てます。また、男子は5・6年生になると必修クラブとしてラグビーの授業があります。仲間とともに取り組むことで楽しんで体を動かし、粘り強くやり通す精神や思いやりの気持ちを養うとともに、ルールを重視し楽しく仲良く運動ができるようにしています。

創立者 船田 兵 吾 (1868～1924)

幼い時から学問が好きで、6歳の頃にはすでに『論語』を読みこなしたことから、「神童」と呼ばれる。また、田中正造とも親しく、彼から「日本における教育者の代表」と言わせるほどの人物であったという。作新学院の教育施設の整備に努め、学校発展の基礎をつくるために奔走し、1924年(大正13年)57歳で「教育」に捧げた一生を終える。



小学部 初代部長 船田小 常 (1903～1973)

小学部創設に尽力。キリスト教の愛の精神を道徳教育の基盤に据え、自ら、聖書の教えを子どもたちに説いた。また、将来の国際化社会に備え、創立当初より英語教育に力を入れた。更に、一流人の育成を目指し、日常の立ち居振る舞いや挨拶等の躰にも厳しかった。こうした初代部長・船田小常の教育理念は、「小さな紳士・小さな淑女の育成」という小学部の教育目標として、今日まで受け継がれている。



沿革			
昭和29年	作新学院小学部創設 外国人教師による英語学習を開始	昭和38年	委託給食開始
昭和34年	制服制定	昭和41年	新校舎落成
昭和35年	必修クラブラグビー部設置	昭和57年	小・中等部体育館落成
昭和37年	必修クラブ茶道部設置	平成 3年	多目的校舎新設
		平成 8年	TBSこども音楽コンクール最優秀賞(金管クラブ)
		平成14年	1学級25名基準、学年3学級編成を実施
		平成17年	小学部校舎の拡充
		平成21年	小・中等部食堂棟落成
		平成23年	新入生より新制服となる
		平成26年	小学部創立60周年

開設当初からグローバル化を見据えた英語教育。

コミュニケーションを重視した内容で、生きた英語を楽しく学びます。

国際的な感覚と感性を身につけます。

作新学院小学部の英語教育は、開設当初より来たるグローバル化を見据え、ネイティブの英語教師をいち早く導入。子どもたちが楽しく自然と英語力が身につけられる授業を展開してきました。英語力を身につけることは、意欲と環境が整いさえすれば何歳からでも可能です。しかし、発音や習得の効率性を考えた場合幼少期から学習を開始することが望ましいと考えられます。

現在、小学部では2人のネイティブの英語教師を擁し、生きた英語を習得できる学習環境を用意しています。私立学校ならではの質の高い教育が期待できます。

また、2020年度から英語が5・6年生で教科になり、今後、より確かな英語の力が求められることを考え、Reading・Writingの力も、学年に応じて身につけることができるようなプログラムを導入しています。



授業の様子は動画でもご覧いただけます



1年生から6年生まで、毎週2〜4回、英語に親しんでいます。



歌やゲームを通して、ListeningとSpeakingを中心に「英語は楽しい」という子どもの心を大切にしています。



「英語が好き」と思えるように、自然な形で英語が身につくことを目指します。



ネイティブの先生とのコミュニケーションを通して生きた英語の活用に重点を置いています。

異文化体験教室

五感を通して、英語と英国の文化に触れます。

5年生は夏休みの7月下旬に、ブリティッシュヒルズで1泊2日の体験学習を行います。ここでのさまざまなカルチャーレッスンやマナー教室はすべて英語。生きた英語に触れながらの活動は、子どもたちにとって貴重な経験となることでしょう。



英語でチェックイン。ドキドキしたけど、通じてうれしい!!



英語で会話しながらメッセージカード作り。



イングランド起源の「クリケット」を体験。



マナーを学びながら美味しく楽しくお食事。



スコンの作り方を教えてもらいました。



一人ひとりを大切に。

少人数クラス編成とチーム・ティーチングで
行き届いた指導を実現します。



小学部長
八島 稔宏

学ぶ姿勢を低学年からきめ細やかに指導。

作新学院小学部では、学校生活の中心となる学習に対する基本的な態度や学ぶ力を、低学年の段階からきめ細やかに指導。一人ひとりがよく学び、自主・自立・友愛の精神を尊重しながら、楽しい学校生活を送れるような環境づくりに努めています。



自ら学び、考え、解決していく力を育みます。

作新学院小学部では私立学校ならではの独自の教育プログラムで特色ある授業を展開し、子どもたちが自然と授業に集中できるようリズムを作り出しています。また、少人数クラス編成とチーム・ティーチングにより、個に応じたきめ細やかな指導を実現し、子どもたちの学力向上に高い成果をもたらしています。さらに、ほとんどの児童が本学院中部へ進学するという環境から、クラス全体に連帯感と緊張感が生まれ、子どもたちの自主性と学習意欲の高揚に相乗効果が得られています。



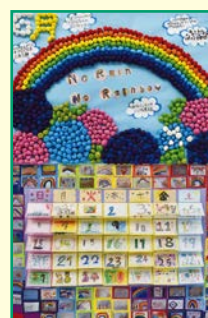
震災学習・被災地支援

東日本大震災から12年

続けてきた被災地の小学校との交流



小学部では東日本大震災以来、気仙沼小学校に毎年手作りのカレンダーを贈りつづけるなど被災地支援に取り組んできました。2021年には修学旅行で現地を訪れて、直接交流することができました。



贈り続けてきた
手作りカレンダーの1枚。



自分たちが贈ったカレンダーが
大切に飾られているのを見て、
あらためて交流の大切さを実感しました。



今年の2月には、気仙沼小の6年生とオンラインでの
交流も実現できました。
これは、小学部について紹介している場面。

必修クラブ



ラグビー

5・6年生の男子にはラグビーの授業があります。作新学院高等学校の体育教諭(ラグビー部)による技術指導を受けています。



ラグビー(男子)



茶道(女子)



茶道

5・6年生の女子は茶道家元のご指導で茶道を学んでいます。茶道を通し、日本の伝統文化に触れ、正しい礼儀作法を身につけます。

朝のお祈りに始まる、楽しく充実した毎日。

キリスト教の愛の精神を基盤とした情操教育を行っています。



毎週水曜日に朝の運動があります。



登校

徒歩・バス・自家用車などで
8時15分までに登校します。
登校時は正門・アカデミア
ゲートのどちらからも入れます。



6年生は週番の仕事として、
朝早く掃除活動を行っています。



1 時限目

子どもたちの生き生きと
した表情が密度の濃い
授業を物語っています。



朝のお祈りの様子は動画でもご覧いただけます



一日の流れ

8:15
読書・体操

9:00
1 時限目

9:55
2 時限目

10:50
3 時限目

11:45
4 時限目

12:30
昼食

昼休み
清掃活動

14:00
5 時限目

15:00
6 時限目

16:00
下校

下校

下校時も、児童の
安全確保につとめて
います。



6 時限目

英語での発表を通して
コミュニケーション
スキルを高めます。



5 時限目

理科の観察や実験は
新しい発見がいっぱい。
児童の目が輝きます。



2 時限目

SDGs について調べて
ロイロノートを活用した
プレゼンテーション授業。



3 時限目

音楽では、合唱や器楽
合奏などを通して、
豊かな情操を育みます。



4 時限目

先生のお話をよく聞いて、
わからないことは
質問し、疑問は今日の
うちに解決します。



給食

ランチタイムはみんなで
楽しく、残さずきれいに
いただきます。



一校一家の精神

小学部では上級生が下級生を
サポートすることが日常となっ
ています。下級生を思いやる
心を育てるとともに、上級生
への感謝の気持ちと目上の人
を敬う一校一家の精神が、脈々
と受け継がれています。



上級生が正門で1年生を出迎え
教室まで付き添います。



わからないことが多い1年生に
6年生が優しくサポートします。



朝の時間に6年生が1年生に
紙芝居を読んであげたりしています。

ICTの活用

児童はiPadを使用してICT機器
ならではの使用方法で、思考の
共有やプレゼンテーションなどに
積極的に取り組み、学習のスキル
を養ったり深めたりしています。



アカデミア・ラボにて社会科
部会の研修会が催されました。



児童たちはiPadを活用して
自主的に疑問点を調べ発表。

学校行事を通して、社会性と協調性を養います。

子どもたちがめりはりのある学校生活を送ることができるように、1年を通して多彩な学校行事を用意してあります。一つの行事に子どもたちが主体的に関わっていく過程では、教科の学習とは違う活動の中から互いの能力を認め合い、よりよいものを創り出す喜びを感じることができます。また、学校行事と総合の時間を関連づけたプログラムを実践し、その内容をより充実したものにしています。

- | | | | | | | | | | | | |
|-----|--------------------------|-------------------------|---------|---------|-----|---------------------|--------|-------------|-----------------|-----|---|
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| 入学式 | 春の遠足
親子給食会
幼小連携田植え | 修学旅行
親子のつどい
花の日訪問 | 異文化体験教室 | チャレンジ講座 | 運動会 | 感謝祭
秋の遠足
林間学校 | 長距離走大会 | クリスマス礼拝・音楽会 | スキー教室
スケート教室 | 卒業式 | |

入学式



作新学院小学部での素晴らしい日々の始まりです。少し緊張しながらも希望に瞳を輝かせています。

春の遠足



新緑の豊かな自然の中で動植物と親しみながらクラスの仲間との友情を深めます。

幼小連携田植え



年長園児ともち米の苗を一本一本丁寧に植えます。10月末に刈り取り、12月には餅つきをして食べます。

花の日訪問



日頃お世話になっている公共機関や施設に感謝の気持ちとともにお花を届けます。

チャレンジ講座



夏休み、各教員の得意分野を生かして約20の講座が開かれます。この講座ではスライム作りをしています。



金管クラブの演奏に合わせて入場行進。割れんばかりの歓声の中で溢れる笑顔とほとばしる汗。仲間と一丸になって勝利を目指します。

林間学校

3年生は塩原で、4年生が那須で1泊2日の林間学校を実施。寝食を共にして友情深めます。



感謝祭



アメリカの宗教行事の一つですが、小学部では毎年野菜や果物を持ち寄り老人ホームなどへ届けています。

長距離走大会



10月から11月にかけて子どもたちは毎日練習します。大会では完走する達成感と喜びを味わいます。大会後は役員の皆様が作ってくださる、おしるごとお雑煮を美味しくいただきます。



木の葉化石園にて木の葉石の原石を割って化石探しを楽しむ体験をします。

りんどう湖ファミリー牧場にて馬・羊・うさぎなどへのえさあげ体験をしたり、様々な動物たちと触れ合います。

幼小連携稲刈り



立派に育ったもち米を年長園児と一緒に稲刈りします。

クリスマス礼拝・音楽会



クリスマス礼拝のあとに音楽会を実施します。各学年ごとに発表する歌や合奏は、非常にレベルの高いものです。



音楽会の様子は動画でもご覧いただけます



スケート教室



3・4年生を対象に実施。1時間ほどの練習で、3年生も上手に滑れるようになります。

スキー教室



5・6年生を対象に実施。現地インストラクターの指導で、初めての児童も2日目には滑れるようになります。

秋の遠足

秋の遠足は、さつまいも掘りやりんご狩りなど、実りの秋ならではの体験も。

益子にて絵付け体験。



患者さんに寄り添った医療人に

薬剤師として活躍中の菊池さんに、元担任の八島部長がお話を伺いました。



職場での菊池さん



アカデミア・ステージにて八島部長と菊池さん

菊池 綾乃さん 薬剤師（済生会宇都宮病院）

明治薬科大学 ◀ 宇都宮女子高等学校 ◀ 宇都宮大学教育学部附属中学校 ◀ 小学部(2007年卒)

(八島) 今、具体的にどんなお仕事を？

菊池さん 病院で薬剤師をしています。調剤業務はもちろん、病棟での業務も行っています。病棟では患者さんに薬を適切に使ってもらえるよう説明をしています。時には、患者さんの状態を聞いて、自分なりに必要だと思うことについて医師や看護師に提案することもあります。

(八島) 今のお仕事に達成感を感じるときは？

菊池さん やはり、患者さんから直接お礼を言われたときには、うれしいですね。医師や看護師から質問を受け、患者さんの治療にそれが活かされたときは自分もチーム医療の一員だなあと、感じます。

(八島) 今のお仕事につながるきっかけは？

菊池さん 小さい頃から近くに医療関係者がいたので、漠然と医療関係の仕事をやりたいなあ、と思っていました。その中でも薬は必要な人にとって毎日関わるものなので薬について詳しく学んで、人の役に立ちたいと思うようになりました。



ダイニング・ラボにて

(八島) これからの夢や希望を教えてください。

菊池さん 薬剤師として成長してって、患者さんにとって一番寄り添った医療人になりたいと思っています。ですから、患者さんのその時々状態を聞いたり、薬の説明をしたりするときに、じっくり話をしたり聞いたりするようにしています。

(八島) 小学部にいたころの思い出は？

菊池さん いくつかの行事も大切な思い出ですが、一番心に残っているのは「日記」ですね。六年間書き続けるのは、私にとって結構大変なことでした。でも、中学・高校・大学と進学していく中で、毎日続けてきたという勉強の習慣は、大きな意味があったと思っています。

(八島) 最後に小学部の後輩へのメッセージをお願いします。

菊池さん どんな小さなことでもいいから、目標を立てて何事も全力で取り組んで欲しいと思っています。それが、成功でも失敗でも、がんばったことには意味があり、そこから得たものは、自信にもなると思います。



卒業アルバムより



稲田さんの勤務先である小沢・秋山法律事務所にて

稲田 康男さん 弁護士・ニューヨーク州弁護士（小沢・秋山法律事務所）

カリフォルニア大学バークレー校 ◀ 東京大学・大学院 ◀ 開成高等学校 ◀ 中部部 ◀ 小学部(1999年卒)

(八島) 今、具体的にどんなお仕事を？

稲田さん 東京の法律事務所では弁護士をしています。



(八島) ニューヨークの司法試験にも合格したと聞いています。それほど高い意識をもっているのはなぜですか？

稲田さん アメリカでの留学を経験し、ニューヨーク州弁護士の資格を取ることで、取り扱うことのできる仕事の幅を上げ、より依頼者の方のお役に立てたらと考えたからです。普段の業務では法律に基づく解決を図るのみでなく、じっくり依頼者の方のお話を聞くことを心がけています。

(八島) 今のお仕事につながるきっかけは？

稲田さん 大学3年生の時、大学OB・OGである弁護士の法律相談に立ち会う機会があり、困っている人に対して自分の知識や経験を活かすことができる仕事に興味を持ちました。

(八島) 今のお仕事に達成感を感じるときは？

稲田さん 紆余曲折を経て契約が成立したり紛争が解決したりすることで、依頼者の方に喜んでいただけたときは嬉しく思います。そして、以前自分に依頼して下さった方が、再び依頼して下さったときにも、この仕事に携わっていて良かったなと思います。

(八島) これからの夢や希望を教えてください。

稲田さん より多くの方にご依頼いただける弁護士になりたいと思っています。

依頼者の気持ちに寄り添う弁護士に

東京の法律事務所では活躍中の稲田さんに、元担任の八島部長がお話を伺いました。



アカデミア・ラボにて八島部長と稲田さん



卒業アルバムより

(八島) 小学部にいたころの思い出は？

稲田さん 行事も思い出に残っていますが、普段の授業が楽しかったという記憶があります。八島先生の社会とか、遠藤先生の理科とか…。八島先生のクラスで覚えた「雨二モマケズ」のフレーズも記憶に残っています。今もこうして記憶に残っているように先生のお仕事というのは、子どもたちの未来につながるお仕事だなあと感じます。

(八島) 授業が終わると、必ずと言っていいほど近くに来てその時間の内容について質問したり感想を聞かせてくれたりしていましたね。

最後に小学部の後輩へのメッセージをお願いします。

稲田さん みなさんがこれから出会う様々なできごとに前向きに取り組んでみるのが大切だと思います。それぞれ得手、不得手もあると思いますし、うまくいくこともありますが、一つひとつあきらめずに取り組むことが将来につながるのではないかと思います。そのうえで、困ったことがあったときには先生に相談することもできますしね。



北野天満宮の寒紅梅の前にて

2024年度 募集要項

※新型コロナウイルスの感染状況により変更が生じる場合には、小学部HPでお知らせいたします。

入学試験	第 1 回	第 2 回
募集人員	男女あわせて約 75 名(1 クラス 25 名程度の 3 クラス編成) ※第 1 回入試が予定通り実施できた場合、第 2 回入試での募集人数は若干名です。	
出願手続	本学院所定の入学願書にて本学院事務局へ提出(駐車場は、正門前講師用駐車場) (願書配布は、7 月末頃から事務局または小学部職員室にて)	
出願期間	2023 年 10 月 30 日(月)～11 月 2 日(木) 受付時間 10:30～16:00	2024 年 1 月 9 日(火)・10 日(水) 受付時間 10:00～16:00
選考日時	2023 年 11 月 23 日(木・祝) 申込順に下記の時間を指定します 9:00/10:30/13:30/14:30	2024 年 1 月 13 日(土) 申込順に下記の時間を指定します 9:00/10:30
入学選考	心身両面の発達を調査し、本校教育に適する者を選びます。 合わせて保護者の面接も行います。	
選 考 料	1 万円	
合格通知	2023 年 11 月 25 日(土) ※郵送による通知	2024 年 1 月 13 日(土) ※郵送による通知
入学手続	合格者は 2023 年 12 月 1 日(金) までに 入学金 8 万円を所定の銀行へ振り込んで ください。(入学金は返金いたしません)	合格者は 2024 年 1 月 17 日(水) までに 入学金 8 万円を所定の銀行へ振り込んで ください。(入学金は返金いたしません)
そ の 他	・一日入学は2024 年 1 月 20 日(土)。 ・教育委員会への手続きは、本学院で行います。 ・就学時健康診断は、指定された小学校で受けてください。 ・学区制限はありません。 ・卒業後の進路選択は自由です。 ・本学院中等部への進学は、入学試験を受け、その結果により認められます。	

入学諸経費

○諸納付金…170,980 円 ※2023 年 7 月 現在

■施設費 100,000 円(入学時・2 年より年間 20,000 円) ■4 月分授業料・教育充実費・実習費 35,600 円
 ■学級経費 13,000 円(半年分) ■保護者会経費 12,000 円
 ■給食費 6,900 円 ■その他の経費 3,480 円

○購買用品…男子/約 79,250 円・女子/約 82,590 円

■制服一式 ◆男子 約 31,000 円 ◆女子 約 34,320 円
 ■体育着一式 男女共通 約 7,800 円
 ■学用品・スモック・ランドセル(学院指定のもの) 男女共通 約 40,470 円

○毎月の経費…45,500 円

■授業料・教育充実費・実習費 35,600 円 ■給食費 6,900 円
 ■行事積立金 3,000 円 ※4・5 月は、学級経費 13,000 円が含まれます。

※児童募集に関する個人情報の取り扱いについて/願書などに記載いただいた個人情報は、入学選考実施のための事務手続き、及び合否等の連絡、合格後における入学手続等の事務手続及びその連絡のために使用いたします。

学校説明会・公開授業参観

2023 年

10 月 19 日(木)

聴蛙館

小学部に入学を希望する園児の
保護者の方々のご来校をお待ちしています。
駐車場は西駐車場です。

学校説明会

場 所/聴蛙館 3 階
受 付/ 9:30～10:00
開催時間/10:00～10:40

公開授業参観

場 所/小学部各教室
授業時間/10:50～11:35

学童保育パレットのご案内



小学部では、第二校舎の一室に学童保育の部屋があります。
利用できるのは、小学部に在籍の 1 年生から 4 年生までの
児童で入会条件にあてはまる児童です。

- ◆新入生定員/15 名程度
- ◆平日/下校時 ～18 時(延長 19 時まで)

小学部体験教室

小学部に入学を希望する園児・保護者の方々を対象に
小学部教室にて「体験教室」を**年 2 回開催**しています。



安全対策

登下校時の 安全確保についての 小学部での対策

- 下校の際には、毎日バス停
の方面ごとに教員が児童を
引率しています。
- 通学範囲の広さを考慮し、
安全確保のため、学校指定
の子ども用携帯電話に限り
条件を付して所持を許可し
ています。

作新学院

Eメール送信

休校や災害時の緊急連絡・
不審者情報などの連絡



作新学院
一の沢キャンパス

「作新アカデミア・ラボ」

地球の未来を創造する
「知と生命の実験場」



募集要項

小さな紳士・淑女を育てる

作新学院小学部